

花は散り、あらたな楽しみが

日々の変化編 桜

桜の花は散りましたが、今度は葉がまばらに生えてきました（①②）。

突然ですが、桜は不思議だと思いませんか？

冬に葉一つない状態だったものが、一気に花が咲き始め満開になります。満開になったときの桜の木には花しかついていません。花の時期が終わると次第に花が散り、そこから葉が出始めます。（花と葉が同じ時期に出る品種もあるようです）

「葉」が植物にとってどのような役割をしているか、花がどのような役割をしているかは2、3年生の皆さんは知っていますね。葉がないということは自分で養分をつくり出せないということです。その状態でも花を咲かせる桜はすごいですね。

葉について考えていきたいですが、葉がなければ養分はつくり出せません、それなのになぜ、葉を落としてしまうのでしょうか？秋には紅葉といいます、なぜ葉の色が変わるのでしょうか？これから考えてみたいと思います。

7、8組の畑はきれいに草を刈ってもらえました（③）。

何やら、黒い毛の生えた動物が溝の中に逃げていきました。もしかしたらタヌキでしょうか（④）？

いつもの雑草はまだ伸びます（⑤）

⑥は1年生の理科で学習する。カラスのエンドウです。今は緑の部分がカラスのように真っ黒になることからそう呼ばれているそうです。

①



②



③



⑥



⑤



④

